

23	浅間家畜育成牧場運営		2	2
24	畜産試験場		1	1
25	農産振興 (経営所得安定対策等推進)			
26	農産振興 (水田等利活用自給力向上)			
27	農業技術センター (農業機械化研究～園芸作物研究)			
28	農業技術センター (普通作物研究～地球温暖化適応策の調査研究)			
29	県産農畜産物ブランド力強化対策		2	2
30	農畜産物等輸出促進		3	3
31	日本絹の里運営		2	2
32	蚕糸技術センター		3	3
33	病虫害総合防除対策 病虫害発生予察			
34	鳥獣害防止		1	1
35	鳥獣被害対策支援			
36	中山間地域等直接支払		1	1
37	利根沼田農業事務所		1	1
38	中部農業事務所			
計		3	33	36

2. 全般的な監査結果及び意見

「群馬県農業農村振興計画 2021-2025」について（意見1）

「群馬県農業農村振興計画 2021-2025」では基本施策及び展開方法によって関連事業の数が偏っている状況にあり、特に基本施策の需要拡大や価値創出については具体的な事業等は少ない。当該計画は令和7年度に最終年度を迎えるため、計画への反映は難しいところではあるが、次期計画においては基本施策において万遍なく、展開方法及び指標の設定を行うことが望ましい。

展開方法ごとに県として毎年度自己評価（A～D）を行っているが判定方法の基準が明確ではなく、一部、自己評価としての判定結果に疑問が残る。自己評価については評価基準の明確化を行う必要がある。

（現状及び問題点）

「群馬県農業農村振興計画 2021-2025」においては、大きな命題である農業産出額、

農業経営体あたりの生産農業所得及び農業経営体あたりの耕地面積が総合指標として定められているとともに、5つの基本政策のもと19の展開方法が定められ、展開方法毎に具体的な施策と共に計画期間終了時までの指標がある。

P43～P45で、各施策と監査対象として抽出した農政部の各事業との関連をマトリックス図にしているが、基本施策及び展開方法によって関連事業の数が偏っている状況にあり、特に基本施策の需要拡大や価値創出については具体的な事業等は少ない。

また、展開方法ごとに県として毎年度自己評価（A～D）を行っているが判定方法の基準が明確ではなく、一部、自己評価としての判定に疑問が残る。（判定結果の詳細はP14～P29の各施策の指標及び評価等について参照）

なお、指標の中には天候等に大きく左右されるものがあるため、県の施策効果が判断できるよう、指標の見直しが必要と考える。

（改善策）

「群馬県農業農村振興計画2021-2025」は令和7年度に最終年度を迎えるため、計画への反映は難しいところではあるが、次期計画においては基本施策で万遍なく、展開方法及び指標の設定を行うことが望ましい。なお、自己評価については現行の計画においても評価基準の明確化を行う必要がある。

また、各展開方法で設定されている指標については、県として施策を実施することで改善できる指標を中心に設定することが望ましいと考える。

3. 対象とした個別の事業に関する監査結果及び意見

■ 1. 農業経営基盤強化対策（農業構造政策課 経営基盤係）

1. 「群馬県農業農村振興計画2021-2025」との関連性

未来につながる担い手確保と経営基盤の強化【人・農地】

展開方法1 ニューノーマルに対応した多様な農業従事者の確保

展開方法2 地域農業を支える力強い経営体の育成

2. 事業の概要

（1）過去3年間の予算・決算概要

（単位：千円）

	当初予算額	決算額	差額	備考
令和3年度	271,381	56,464	214,917	
令和4年度	263,795	141,766	122,029	
令和5年度	160,421	81,833	78,588	

【令和3年度について】

令和3年度内に、当該事業の一部とされていた事業が他の事業に移されること